



総合ネットセキュリティ企業 イー・ガーディアン

生徒・保護者・教職員向け SNS リテラシー向上 e ラーニング

「EG SNS リテラシー」の提供を開始

～炎上・誤情報拡散など 10 のリスクテーマを事例から学び、大型休暇中の SNS 事故を防止～

イー・ガーディアン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：高谷 康久、以下「イー・ガーディアン」）は、学校の生徒・保護者・教職員を対象に、SNS 利用に伴うリスクを正しく理解し、適切に SNS と付き合うためのリテラシー向上 e ラーニング「EG SNS リテラシー」の提供を開始したことをお知らせいたします。



E-Guardian

We Guard All

イー・ガーディアンは、総合ネットセキュリティ企業として投稿監視、本人確認、広告審査、ソーシャルリスニング、サイバーセキュリティなど、インターネット世界の安心・安全を実現するべく、ネットセキュリティに関するあらゆる課題をワンストップでサポートするほか、昨今の生成 AI 技術の発展を受け、AI を活用した IT ソリューション開発にも注力しております。特に SNS 領域においては、長年にわたる企業の SNS 運用・炎上対策を支援してきた知見や、現場で培った生きたノウハウを活用し、教育現場における SNS リテラシー向上にも取り組んでまいりました。

■サービス提供の背景と狙い

青少年のネット利用時間は年々増加しており※1、それに伴って悪意のない投稿による炎上や、誤情報の拡散、著作物の無断利用に加え、ネット上のいじめ認知件数の増加など※2、子どもを取り巻くトラブルは多様化・深刻化しています。日常的にこれだけのリスク環境にある中、夏休みや冬休みなどの長期休業期間中は、自由な時間が増えることで SNS に触れる時間がさらに増え、トラブル発生リスクが一段と跳ね上がります。さらに近年では、保護者による学校への不満投稿や、教職員による不適切な情報発信など、大人側のリテラシーが問われる事案も増加傾向にあり、学校・家庭双方でのリテラシー教育が急務となっています。

こうした背景から、入学時や長期休業前などで、生徒・保護者・教職員の全員が正しい知識を身につけ、学校全体で適切に SNS と付き合うためのリテラシー向上を目的とした e ラーニングサービス「EG SNS リテラシー」の提供を開始いたしました。

本サービスは、先日発表した学校向け SNS 監視システム「アカデミーリスクシールド」と連携することで、教職員の業務負担を最小限に抑えながら、「事前の予防（教育）」から「早期発見・事後対応」までを一気通貫でサポートし、学校全体により強固な安心・安全をご提供します。

※1 こども家庭庁「令和7年度青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（速報）」

※2 文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

ネットいじめ認知件数とインターネット利用時間の推移



※こども家庭庁「青少年のインターネット利用環境実態調査」、文部科学省「問題行動・不登校調査」をもとにイー・ガーディアン作成

■EG SNS リテラシー の3つの特徴

EG SNS リテラシーは、イー・ガーディアンがネット監視のプロとして培った知見と、長年蓄積してきたリアルなトラブル事例をもとに開発されたeラーニングサービスです。SNS利用に伴う代表的なリスクを10のテーマに分け、映像で分かりやすく解説します。

1. 生徒・保護者・教職員の「3つの視点」を網羅

生徒だけでなく、保護者や教職員も当事者となり得るテーマを網羅。立場に応じた視点で、トラブルが周囲に与える影響まで深く理解できる構成です。これにより、学校と家庭の双方に「共通のリスク認識」が生まれ、学校での指導と家庭でのルール作りに一貫性を持たせることが可能になります。

2. 単なるルール解説ではなく、リスクを体系的に学ぶ3ステップ

各教材は、実際のトラブル事例をもとに「①なぜトラブルが起きたのか（発生要因）」「②誰がどのような損害を被ったのか（周囲への影響）」「③どうすれば防げたのか（具体的な回避策）」という3つのステップで構成されています。これにより、「〇〇は禁止」といった教科書的なルールの丸暗記による形骸化を防ぎます。トラブルの因果関係を構造的に理解することで、受講者が「自分ごと」として危機感を持ち、日常生活の中で自発的にリスクを先回りして回避する実践的な判断力を養います。

3. 生成AIやサブ垢特定など「最新のトレンド・リスク」に対応

「複数アカウントの紐付けによる身元特定」や「生成AIコンテンツの著作権」など、現代の児童・生徒・教育現場が今まさに直面しているリアルな課題をカリキュラムに反映しています。これにより、従来のリテラシー教育ではカバーしきれなかった「悪気のないデジタル著作権侵害」や「隠していたつもののアカウントの身バレ」といった、現代ならではの落とし穴を未然に回避します。



■ 学習する 10 のリスクテーマ

各テーマには実際の事例をもとにした映像教材を用意し、対象者が「自分ごと」として関心を持てるタイトルを設定しています。

No.	テーマ	映像タイトル
1	炎上への便乗RT・コメント	その一言 RT が人生を壊す —誤爆から始まる「特定」の恐怖
2	著作物の無断転載・使用	好きな作品を守れなくなる日 —無断転載が招く著作権の罠
3	不謹慎投稿	その一言、笑えないかもしれない —不謹慎投稿が招く炎上のリアル
4	悪口・批判投稿	スクショは消えない —愚痴の投稿が招いた「本人特定」の代償
5	誤情報やデマのRT・シェア	善意のシェアが混乱を生む —気づかぬうちにデマ拡散者になる瞬間
6	バイトテロ・職場悪ふざけ	その悪ふざけがクビと賠償金請求の始まり —バイトテロの代償
7	保護者の学校・教師への不満発散	その一投稿が学校を揺るがす —保護者のSNS投稿が招いた誤解と開示請求
8	複数アカウントの紐づけ	サブ垢は安全じゃない —痕跡から本人が特定される仕組み
9	教師による生徒情報の投稿	良かれと思った投稿が懲戒に —教師のSNS発言が招く落とし穴
10	生成AIコンテンツを自分の作品として投稿	AIで作った「自分の作品」、それって嘘？ —生成AIと著作権のリアル

※学習するテーマとタイトルは開発過程において変更される可能性があります。

※本日より前半のテーマの提供を開始し、以降準備が整い次第、順次ご提供いたします。

■今後の展望

本サービスの提供を皮切りに、文教市場におけるセキュリティ支援事業を本格的に強化いたします。当社の主力事業で培ってきた投稿監視のリアルなデータとノウハウを活用することで、他社にはない実践的な教育ソリューションを提供します。

今後は、本教材による「事前の予防（リテラシー教育）」に加え、SNS 監視システム「アカデミーリスクシールド」などの既存サービスを組み合わせることで、トラブルの未然防止から、AI を活用した「隠れリスク」の早期発見・事後対応までをワンストップで支援する包括的な体制を提供してまいります。

全国約 3.5 万校の教育機関および各自治体の教育委員会等へ向けた提供を順次拡大し、教職員の負担を増やすことなく確かな安全性が得られる、教育現場における SNS 対策の新たなスタンダードとしての定着を目指します。これにより、学校と家庭の双方が安心してデジタル社会と向き合える環境づくりをより強固に支援してまいります。

関連リリース：

[学校名を含まない隠れたリスクも AI で検知 SNS 監視システム「アカデミーリスクシールド」を開発](#)

「事前の予防」と「早期発見」の両輪で生徒・教育環境・教職員を守る

eラーニング：EG SNSリテラシー

SNS監視システム：アカデミーリスクシールド

【事前の予防】

「知る」ことでトラブルを未然に防ぐ

生徒・保護者・教職員の3つの視点で、現代のリアルなSNSリスクを学習。

「何が危険か」を体系的に理解し、**自発的にトラブルを回避する実践的な判断力**を養い、問題の発生そのものを大きく抑え込みます。

教育でリスク件数を減らし
パトロールを効率化

安心安全
の
実現

パトロールで得た現場の
最新トレンドを教育に還元

【早期発見・対応】

「見つける」ことで被害の芽を摘む

AIと実績豊富な専門チームによる**24時間体制のSNSパトロール**を実施。

学校名が伏せられた隠語や、画像でのいじめ・迷惑行為の予兆も早期に発見し、教職員の業務負担を増やすことなく迅速な初動対応を可能にします。

イー・ガーディアンが守るもの

👤 生徒を守る

取返しのつかないデジタルタトゥーや、悪質なネットいじめなどの被害・加害から子どもたちの未来を保護します。

🏫 教育環境を守る

事実無根の不満投稿や炎上による学校ブランドの毀損を未然に防ぎ、保護者も安心できる安全な学校運営をサポートします。

👩 教職員を守る

休日のパトロール対応や炎上後の事後処理などの業務負担を削減し、意図せぬトラブルリスクから現場の教職員を守ります。

【サービス概要】

サービス名：EG SNS リテラシー（SNS リテラシー向上 e ラーニング）

内容：炎上・誤情報拡散など 10 テーマの映像学習による e ラーニング

対象：学校の生徒（児童・学生）、保護者、教職員

提供形態：動画データ等による売り切り提供

※学校規模や対象人数に合わせたお見積もりが可能です。詳細はお気軽にお問い合わせください。

詳細 URL：<https://www.e-guardian.co.jp/service/consulting/eg-sns-literacy>

【イー・ガーディアングループ 概要】

1998 年設立。2016 年に東証一部上場。2022 年に東証プライム市場へ移行。イー・ガーディアンはネットパトロール、カスタマーサポート、デバッグ、脆弱性診断などネットセキュリティに関わるサービスを一通貫で提供する総合ネットセキュリティ企業です。センターは、提携先を含めてグループで国内 8 都市海外 3 都市 19 拠点の業界最大級の体制を誇ります。昨今は Fintech・IoT 業界への参入や AI・IT 活用による DX 推進、セキュリティ関連サービスの拡充など、時代を捉えるサービス開発に従事し、インターネットの安心・安全を守っております



■イー・ガーディアン株式会社 会社概要

代表者 : 代表取締役社長 高谷 康久

所在地 : 東京都港区虎ノ門 1-2-8 虎ノ門琴平タワー8F

設立 : 1998 年 5 月

資本金 : 1,967 百万円 (2026 年 3 月末日現在)

業務内容 : ブログ・SNS・掲示板企画コンサルティング/リアルタイム投稿監視業務/ユーザーサポート業務/
オンラインゲームカスタマーサポート業務/コンプライアンス対策・風評・トレンド調査業務/
コミュニティサイト企画・サイト運営代行業務・広告審査代行サービス業務/人材派遣業

URL : <https://www.e-guardian.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

イー・ガーディアン株式会社 広報担当

TEL : 0120-665-046 E-mail : info@e-guardian.co.jp